



たずさえる
携

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

暑さ寒さも彼岸まで、という言葉がありますが、やっと朝晩は涼やかな風が吹くようになりました。今年も本当に暑かったですね。また局地的な大雨が降ることが多く、大雨洪水警報が頻繁に発令されましたが、私は、市内で被害が発生しないかと常に気がかりでした。

そのような中、防災の日の前日8月31日には、埼玉県と朝霞市による八都県市合同防災訓練が、東洋大学朝霞キャンパスで実施されました。これは、本市において震度6強を観測したという想定で、倒壊建物からの救助やヘリコプターによる高所救出、転落した車両からの救出などさまざまな訓練を実施したものです。本番さながらの緊迫感とスピード感があり、消防、自衛隊、医療チームなどの日ごろの訓練の成果が遺憾なく発揮され、とても感心しました。同時に、この訓練を通じて、

市や防災関係機関などの役割と連携の方法が、改めて確認できたことは大きな収穫でした。

また、前日の夕方からは、町内会・自治会で募った市民の皆さんにより、避難所生活を想定した夜間宿泊訓練が東洋大学体育館で実施されました。防災訓練の当日に、この前夜の訓練に参加された方に話を伺いましたが、たった1晩でもとても疲れたようで、避難所生活を長く続けることの大変さと、いざという時のために地域の防災力を高めたい、ということをおっしゃられました。実体験をした人にしか語れない言葉であり、これも訓練の大きな成果のひとつだと思います。

今回約5,200の方が参加し、ライフライン関連会社の防災PR活動や体験コーナー、救護、ボランティアの活動訓練に積極的に参加、または見学などをされていて、防災に対する意識の高さを感じられました。しかし、「被災時には自助、共助が大切」と言われるように、災害が発生してから2、3日は、自分たちや地域の中だけで踏ん張っていただかなければならないわけです。市としても、地域の防災力を高めるために町内会・自治会のご協力を得て自主防災組織の育成に力を入れていますが、物の備えと心の備え、そしてご近所との連携と協力が、災害を乗り越えるためには大切です。

それでは、また。

朝霞市は男女平等を進めています

—DV(ドメスティック・バイオレンス)を知ろう⑥—
デートDV

DVは、「夫婦や元夫婦など、親密な関係にある(あった)者から相手に対して振るわれる暴力」のことです。これは、大人だけの問題ではありません。高校生や大学生など若い世代の恋人たちの間で、相手を殴ったり、けったり、暴言を吐いたり、行動を制約したり、嫌がるのに無理やり言うことを聞かせたりする「暴力」が振るわれることを『デートDV』といいます。デートDVは人権侵害にあたる許されない行為です。あなたがもし、付き合っている相手を怒らせないようにいつも気を遣っているとしたら、相手を怖いと感じているとしたら、それはデートDVが原因ではありませんか?不安な気持ちがあるなら、一人で悩まずSOS! 信頼できる人や専門機関に相談しましょう。

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問い合わせ / 人権庶務課 内線2255

☎048 463 2697 (直通)

ひとの推移

人

人口	12万7,815人	(+ 37人)
男	6万5,586人	(+ 42人)
女	6万2,229人	(- 5人)
世帯数	5万7,528世帯	(+ 22世帯)

平成20年9月1日現在 ()内は前月比

秋のきれいなまちづくり運動

住み良い環境をつくるため、自治会等のご協力により、市内全域を対象とした「秋のきれいなまちづくり運動」を行います。

皆さんの積極的な参加をお願いします。

実施日 / 10月26日(日)

実施方法 / 各自治会等を中心に、道路に散乱しているごみや空き缶などの収集やその処理を行います。ごみを効率よく回収するため、次のことにご協力ください。

- ・家庭から出された粗大ごみは回収しません。
- ・回収車が進入可能な場所に集める。
- ・集積場所はできるだけ分散しないようにする。
- ・ごみの分別は「資源とゴミの分け方・出し方」を参考にしてください。

雨天等により実施日を変更する場合は変更日時・ごみの収集場所をご連絡ください。

問い合わせ / 環境保全課 内線2262

☎048 463 1504 (直通)

